

報道関係者各位

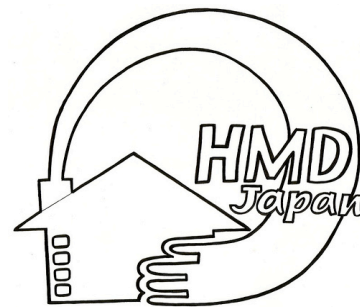
NPO法人映画保存協会

■ 家庭や地域に眠るちいさなフィルムのためのちいさな祭典

ホームムービーの日

HOME MOVIE DAY

www.homemovieday.jp



2007年8月11日（土）世界60都市、国内12会場で同時開催！ 【入場無料】

毎年8月の第2土曜日は《ホームムービーの日》。この日、地域や家庭に眠るフィルムを持ち寄って上映するイベントが世界各地で同時に催されます。小学校の運動会、家族旅行の記録、いつのまにか失われた街並みにちょっと恥ずかしい青春時代の自主映画…… 夏の夕べ、映写機のカタカタという音とともに、懐かしの映像を楽しみませんか？

会場：弘前（ぼくらのいえ ゆばんき）、東京（根津教会・ガスミュージアム・太子堂区民センター・八王子市生涯学習センター）、長野（21世紀長野映画の会）、名古屋（旧豊田佐助邸）、京都（旧立誠小学校）、大阪（全興寺・阿倍野寺西町屋 寺西興一邸・大阪市立港近隣センター）、神戸（神戸映画資料館）

2003年に《ホームムービーの日》を制定したのは本館をL Aに置く映像アーキヴィスト協会（AMIA）の若手映像アーキヴィストたちです。この記念日を一人でも多くの方に知っていただくために、映画保存協会は初年度より日本での普及につとめ、5年目の今年も日本事務局として各地をサポートしています。

かつては一世を風靡した家庭用8mmフィルムも、デジタル化の流れに押されてすっかり時代遅れのメディアとなり、富士フィルムは昨年ついにシングル8の販売終了を発表しました。ところがそれを受けて映画監督やフィルム愛好家たちが反対運動を起こし、販売中止が延期されたことも大きな話題となりました。

長期的な保存を考えると、実はDVDなど新しいメディアよりフィルムのほうが寿命が長いということは意外と知られていません。

《ホームムービーの日》は、押し入れや引き出しの奥に長いあいだ忘れられているそんなフィルムに光を当てます。デジタル技術では再現できないフィルム独特の味わいや美しさを、お近くの会場にてどうぞお確かめください。関係者一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

* 京都会場は8月10日（金）開催、大阪 阿倍野区会場は8月18日（土）開催です

* 神戸会場は有料イベントです

- ・ 原則として映画フィルムのみを上映対象とし、そのほかのメディア（ビデオテープやDVD）は受け付けません。
- ・ 事前に登録されたフィルムを優先的に上映し、すべてのフィルムは上映後すみやかに持ち主に返却します。
- ・ テレシネ（フィルム→ビデオ変換）や家庭での保管方法についてもお気軽にご相談ください。
- ・ 開催時間、開催条件は会場により若干異なることもありますので、事前に必ずご確認ください。
- ・ 添付資料（マーティン・スコセッシ「ホームムービーの日」によせて/HMD世話人連絡先）もご参照ください。
- ・ このほか、昨年の東京・名古屋会場の映像を集めた「HMD JAPAN 2006」やHMDロゴ画像もご用意できます。

Home Movie Day official site（英語）

www.homemovieday.com

本部：Center for Home Movies

www.centerforhomemovies.org

協力：映像アーキヴィスト協会 AMIA

www.amianet.org

【本件に関する問合先】

TEL/FAX：03-3823-7633

E-MAIL：hmd@filmpres.org

〒113-0022 東京都文京区千駄木5-17-3

NPO法人映画保存協会

*お急ぎの場合は 090-2683-8702（石原）までご連絡ください！



資料1. 「ホームムービーの日」によせて

映画保存の対象は、商業目的で製作された作品に限るべきではありません。ホームムービーは、家族にとってかけがえのない瞬間の個人的な記録であるだけでなく、歴史的・文化的な記録としてもかけがえのないものだからです。たとえば、あのケネディ大統領暗殺の瞬間は、エイブラハム・ザプルーダーという一市民が撮影した8ミリフィルムに記録されていました。また画家フリーダ・カーロとディエゴ・リベラの写った見事な極彩色の映像は、ニコラス・ムライの16ミリカメラに収められたものです。もしそれらの貴重なフィルムが存在しなかったら、私たちの歴史の見方はどんなに違っていたことでしょうか。「ホームムービーの日」はそんなフィルムたちと、それらを撮影した人々のための記念日です。フィルムに刻みこまれた記憶を大切に受け継いでいくにはどうすればいいのかもっと知りたい。そんな興味をおもちの方はぜひ、お近くの町で開かれるこの祭典に足を運んでみてください。

マーティン・スコセッシ（映画監督／フィルムコレクター）

"Saving our film heritage should not be limited only to commercially produced films. Home movies do not just capture the important private moments of our family's lives, but they are historical and cultural documents as well. Consider Abraham Zapruder's 8mm film that recorded the assassination of President Kennedy or Nickolas Muray's famously vibrant color footage of Frida Kahlo and Diego Rivera shot with his 16mm camera. Imagine how different our view of history would be without these precious films. Home Movie Day is a celebration of these films and the people who shot them. I urge anyone with an interest in learning more about how to care for and preserve their own personal memories to join in the festivities being offered in their community..."

Martin Scorsese

資料2. HMD世話人連絡先

開催地	世話人	メールアドレス	電話
弘前	竹森	hmd_hirosaki@yahoo.co.jp	070-5473-5245
谷根千	しま	darenndaren@yahoo.co.jp	-
世田谷	早田	info@separa.org	090-3526-5425
小平	中川	hmd_kodaira@yahoo.co.jp	-
八王子	斎藤	saitoukanchou@yahoo.co.jp	070-6579-9794
長野	江守	emori@emori.com	026-221-0639
名古屋	田村	satoshoten@filmpres.org	090-8473-3677
京都	梅田	s-umeda@ja2.so-net.ne.jp	090-8212-2331
大阪平野	木村	ieyasu@kpf.co.jp	06-6263-6137
大阪阿倍野	松本	waitmore@remo.or.jp	06-6634-7737
大阪港	金子	minato-center@abelia.ocn.ne.jp	06-6572-0020
神戸	高野	hmdkobe@yahoo.co.jp	078-754-8039

